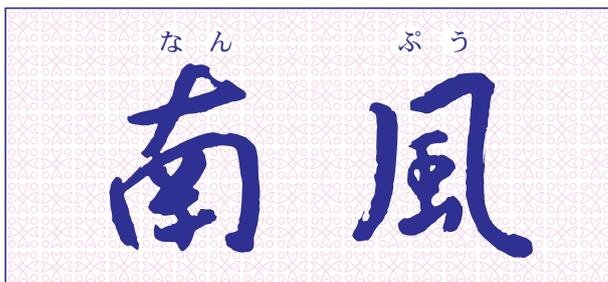


令和6年度
夏季号



発行
公益財団法人
沖縄県交通遺児育成会

〒900-0027
沖縄県那覇市山下町18番26号
山下市街地住宅2階B-211号室
電話 (098) 987-0743
FAX (098) 987-0744
<http://okiko-iku.com>



オーストラリアの街並みを見上げる：撮影 比嘉結希人（詳細は3ページで）

令和6年度 奨学金の給付申請を開始しました

必見!! 申請条件を一部緩和!!

申請対象者は、父母や
それに代わる保護者が交
通事故で死亡、または交
通事故により後遺障害
等級を負ったご家庭のお
子さまです。ただし、県
内の学校に通う小学生以

上のお子さまが対象とな
ります。
交通事故における被害
側、加害側問わないほ
か、一世帯からの人数上
限もございません。
また、本年度より申請
条件が一部緩和されまし
た。保護者が再婚されて
も総所得が基準内であれ

ば対象と認めるほか、他
の奨学金(貸与型・給付
型)との併用も可能にす
るなど、これまで該当さ
れなかった方やお心当た
りのある方など、お気軽
に事務局までお問い合わせ
ください。
令和6年度の申請締め
切りは8月15日(木)です。

海外・国内への支援を強化「行ってみたい」のチャンスを生かそう!

当会から奨学金を受給されている中学生以上のお子さまを対象に、令和6年度海外・国内派遣の募集が始まりました。(内容によっては小学生も可)

海外語学研修や国内体験型研修など、参加したい研修プログラムを当会が支援します。「英語が好きだから」「異文化に触れてみたい」など、興味を持ったプログラムがあれば育成会までご連絡ください。海外、国内ともに行き先や研修の内容は問いませんが、活動内容が明確なものに限らせていただきます。

人数、支援額が達し次第申し込み締め切りとさせていただきますので、興味のある方はお早めに事務局までお問い合わせください。

育成会事務局：098-987-0743

令和5年度の事業・決算を承認

公益財団法人沖縄県交通遺児育成会の令和6年度第1回理事会が5月27日、沖縄テレビ放送株式会社大会議室で開催され、令和5年度の事業報告・決算書が審議、承認されました。また定時評議員会を6月11日に那覇市の沖縄産業支援センターで開催し、当年度決算報告が審議、承認されました。



令和6年度 第1回理事会



令和6年度 定時評議員会

令和5年度は奨学・育成金、激励金や見舞金など延べ48人(前年度比12人減)へ410万7352円(同97万6648円減)を給付しました。給付支援の減少理由として、ここ数年の交通事故死傷者数の減少に伴い、交通遺児家庭も減少傾向にあることなどを挙げました。今後は特に交通事故で後遺障害を負ったご家庭もとりこぼすことなく支援できるように、周知徹底に努めることを確認しました。

人材育成事業のひとつとして実施している海外・国内派遣の要綱等を新たに整備したことにより、子どもたちが貴重なチャンスを活かすことができ、今後も派遣事業を積極的に活用してもらえよう呼びかけます。寄付の受け入れ総額は2167万6639円で(前年度比78万9430円増)でした。「団体寄付」「学校募金寄付」で減額しましたが、「個人寄付」

令和6年度の事業計画・予算を承認 令和5年度第3回理事会

令和5年度第3回理事会を3月15日に沖縄産業支援センターで開催し、令和6年度の事業計画書と予算書が承認されました。令和6年度も①奨学金等給付事業②人材健全育成事業③募金・寄付金受け入れ事業、広報活動事業の三本柱に活動することを確認しました。

また、給付規程の一部改訂と海外・国内派遣支援金要綱の令和6年度施行についても全員一致で承認されました。給付規程の一部改訂では、他の

「賛助員寄付」「ボックス募金寄付」「受贈品寄付」で増額しました。今後も当会の知名度をあげるため、評議員や理事、関係機関と協力しながら幅広い周知・広報活動に取り組みを確認しました。

また、人事異動に伴う評議員、役員候補者選任も全員一致で可決されました。

令和5年度第3回理事会
奨学金との併用も可能にするなど、給付条件の一部が緩和されたことにより、より多くの子どもたちへ支援の手が差し伸べられることを期待します。



令和5年度 第3回理事会

公益財団法人沖縄県交通遺児育成会

役員名簿

(令和6年6月11日現在)

評議員(10名)

- 親泊 一郎 元・株式会社琉球新報社社長
- 野原 朝昌 沖縄県自動車販売協会会長
- 新城 英一 公益財団法人沖縄県トラック協会会長
- 山城 克己 一般社団法人沖縄県バス協会会長
- 東江 一成 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会会長
- 宮城 正明 公益財団法人沖縄県交通安全協会連合会専務理事
- 登野原 功 沖縄県軽自動車協会専務理事
- 新・東江 善平 一般社団法人沖縄県指定自動車学校協会専務理事
- 與古田思好 一般社団法人沖縄県レンタカー協会専務理事
- 長堂 克彦 沖縄都市モノレール株式会社総務部長

理事(9名)

- 理事長 船越 龍二 沖縄テレビ放送株式会社社長
- 新・仲宗根 勝 沖縄県高等学校長協会会長
- 半嶺 満 沖縄県教育委員会教育長
- 前川 英之 株式会社ラジオ沖縄社長
- 普久原 均 株式会社琉球新報社社長
- 武富 和彦 株式会社沖縄タイムス社社長
- 中村 一彦 琉球放送株式会社社長
- 赤岩 勇二 日本放送協会沖縄放送局局長
- 長濱 弘忠 株式会社エフエム沖縄副社長

監事(1名)

- 佐次田 朗 公益財団法人沖縄県トラック協会顧問 (敬称略、順不同)

※7月予定の臨時理事会において副理事長が選定されます。

海外派遣支援報告書

開邦雄飛プログラムに参加して



開邦中学校 1年 比嘉 結希人

今回僕は海外研修として台湾、オーストラリアに行って普段日本ではできない貴重な体験をすることができました。

僕がこの研修に参加できて一番良かったと思ったことは、日本にいただけでは「想像」することしかできなかった海外の文化、生活など身をもって「体験」できたということです。まず台湾に着いた僕たちは、台湾の学生と交流しながら台湾各地を観光するという活動をしました。台湾は日本と同じ東アジアに位置していて、気候や植生などそこそこ日本に似ていました。また面積が小さく、利用できる土地が狭いのも共通点のひとつとして挙げられます。そのため、都市間の移動では車やバスなども使われていましたが、多くの人が鉄道を利用していました。このように日本と共通点が多い台湾ですが、日本とは治安の面でいくつか違うところがあるように感じられました。まず、台湾で移動するときは貴重品が盗まれないように気をつけなければならないということです。特に最近は財布、パスポート、スマホなどの物だけでなく、スマホの中の情報だけを抜き取るスキャン犯罪もあり、気をつけなければいけないらしいです。また、路上生活者が多いという問題もあり、大きな駅の近くでは段ボールで囲まれた一畳分もない広さの場所に座っている多くの人がありました。台湾は観光地という面でみればとても魅力的ですが、貧困層の人も多くいるという現実にはこれからは向き合っていかなければならないと思いました。

こうして台湾での活動を終えた後、僕たちはオーストラリアに向かいました。オーストラリアは日本と比べるととても大きく、シドニーにはその土地の広さを利用したとても大きな都市ができており、シドニー郊外のほぼすべての家が庭付きの一軒家でした。また、学校もとても大きく、小学生から高校生までが同じ敷地内の学校に通っているという特徴もあります。食事でも日本と違う面が多く、朝はシリアルやトースト、昼は主食にジュース、スナック、りんご、チョコレートなど日本の食事より質素なものを

食べました。夜は米、スープカレーのようなものを食べていて、和食と比べると品数が少ないといえます。

学校の授業ではパソコンを使って3Dのデータ作成や、レゴブロックを使って作られた車にプログラミングをし、それを円の中で戦わせるという授業など、考えて創造する授業が日本より多い傾向にあると思いました。現代社会において、発想力はとても大事なことでと僕は考えており、日本でもこのような授業を受けることができるようにするべきだと思います。

今回の海外研修を通して僕はひと言で表すと「世界は広い」ということを学びました。海外に行くのはとても勇気がいるし、一人の力だけでは難しいですが、海外に行くまでに様々な人に支えられて準備を進めることができました。与えられたチャンスを掴み、日本から一歩外へ踏み出してみることはとても大切なことだと思います。

僕はこの研修で学んだことを将来の夢のために役立てていきたいと思っています。



たくさんのご招待ありがとうございました!!

企業や団体から、子どもたちへ様々なイベントチケットが贈られました。クリスマスや年末年始の思い出に、受験や実習を頑張ったご褒美として、思い切り楽しんだ感謝のメッセージがご家族から届きました。ご招待チケットをご提供いただいた皆様、ありがとうございました。

カヌチャイルミネーション ✨



久しぶりに家族みんなで過ごしました。いい思い出になっています。どんなに感謝してもしきれないくらい感謝しています。ありがとうございました。(沖縄市・保護者)

お正月に次男とカヌチャスターダストファンタジアにいきました。なかなか遠出しないのでとてもいい思い出になりました。ありがとうございました。(那覇市・保護者)



ハッピードリームサーカス 🎪



サーカスに行きたかったのととてもうれしかったです。お客さんが参加できるものに、私も手をあげたらピエロさんに当ててもらえました。皆の前ではきんちょうしたけれど、とても楽しくていい思い出になりました。ありがとうございました。(南城市・小学生)



はじめてサーカスを見ました。さいしょ、人がおちないかこわくてきんちょうしたけど、見ていくうちにとてもすごいなあと思いました。空中ブランコがかっこよかったです。また見に行きたいです。(那覇市・小学生)



サーカスを見るのは幼少期以来だったのでとても興奮しました！ありがとうございました。(南城市・専門学生)

お母さんと妹といとこといっしょに行きました。ピエロの赤い鼻も買いました。大こっふんで楽しい時間をすごしました。ありがとうございました。(那覇市・小学生)



プロ野球オープン戦 ⚾



ヤクルトオープン戦に行ってきました。うちの子どもたちはみんな野球経験があり野球大好きなので本当に良い思い出ができました。長男は4月から高校球児となります。プロ野球選手になるために頑張っています！また機会があれば観戦に行きたいです。本当にありがとうございました。(南風原町・保護者)



観戦チケットありがとうございました。国家試験を終えてから久々に楽しむことができました！(南城市・専門学生)

琉球ゴールデンキングス 🏀



アリーナはとても大きくて、おきゃくさんもたくさんいて、おうえんもすごくてこっふんしました。キングスも相手のチームも、はくりよくのあるプレーでみんなかっこよかったです。私もバスケットをやりたいなと思いました。(うるま市・小学生)

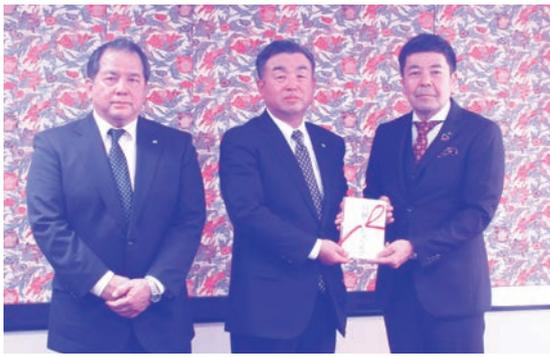
おうえん団がかっこよかったです！ヤクルトグッズもかわかったので買ってもらい、音楽に合わせて私もいっしょにおうえんしました。(那覇市・小学生)

ぼくも、小学校でバスケット部に入っています。キングスの選手たちのようなプレーがいつかできるように、これからも練習を頑張ります。またいつか、試合を見にアリーナに来たいです。(那覇市・小学生)

初 寄 付

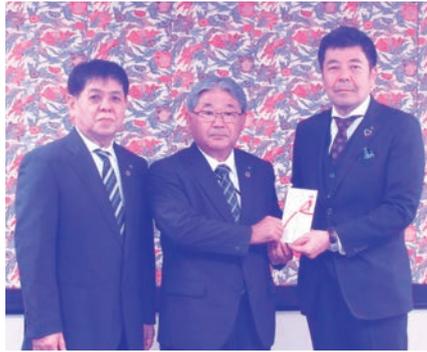
夢と希望を持って進む一助になりたい
OAS航空が50万円を寄付

県内の航空貨物事業に携わる沖縄NXエアカーゴサービス（OAS航空）は2月28日、創業50周年を記念し50万円を寄付した。沖縄テレビで行われた贈呈式で米内山徹治社長（写真中央）と渡慶次道明副社長（同左）は「子どもたちの未来を明るく照らす取り組みに共感した。夢と希望を持って進む一助になることができれば嬉しい」と寄付金を託した。



子どもたちの成長を願い 光電気工事が10万円

県内の電気通信工事に携わる光電気工事は3月7日、創業70周年を記念して10万円を寄付した。金城正司社長（写真中央）と新垣雄久取締役（同左）は沖縄テレビを訪れ「日頃から交通安全活動に力を入れている。社会貢献を通して子どもたちの成長を願っている」と寄付金を託した。



内外運輸が30万円 辛いことあれば遠慮なく相談を

内外運輸（知念義孝社長）は3月26日、30万円を寄付した。育成会事務局を訪れた金城猛常務（写真中央）と仲宗根健史課長（同右）は「辛いことがあれば遠慮なく大人に相談してほしい。勇気をもって声に出して」とメッセージも送った。



沖縄バスが18万円余 学業に専念してほしい

沖縄バス（新川幹雄社長）は、1月12日にパレット久茂地前で実施した新年街頭募金と、職員や関連企業の沖縄ふそう自動車から寄せられた18万8000円を寄付した。2月8日、育成会事務局を訪れた天久弘美観光部課長（写真左）と永峯健司総務部係長



（同右）は「環境に左右されず学業に専念してほしい」と話し寄付金を託した。

継 続 団 体

学業継続の一助になりたい
沖縄銀行が20万円

沖縄銀行（山城正保取締役頭取）は2月6日、20万円を

寄付した。那覇市久茂地の沖縄銀行本店で行われた贈呈式で伊波一也専務（写真右から2人目）は「毎年行員、役員が職場募金を実施している。今後も子どもたちの学業継続の一助となっていきたい」と話した。



子どもたちへの支援継続 ロータス同友会支部が11万円

県内の自動車整備業21社でつくる全日本ロータス同友会沖縄県支部（宇根良文支部長）は写真前列右から3人目）は



2月8日、11万円を寄付した。宜野湾市のロータス会館で開催された定例会の席上で贈呈式があり、加盟店に設置している募金箱や会員から寄せられた寄付金を託した。

野球観戦で楽しい時間を
自動車販売協会が30枚寄贈

県自動車販売協会（野原朝昌会長）は、「ヤクルト対阪神」のオープン戦観戦チケット30枚を寄贈した。2月9日、浦添市の同協会会館で行われた贈呈式で金城治業務部部长（写真左）は「なかなか見られない選手たちのプレーを楽しんでほしい」と話した。



ひとりで悩まずまわりを頼って
りゅうぎんユイマール助成会が20万円

琉球銀行と同行役職員の寄付で運営するりゅうぎんユイマール助成会は20万円を寄付した3月1日、育成会事務局を訪れた渡名喜郁夫総合企画部部长（写真左）と富山麻美さん（同右）は「直接手を差し伸べられないが、困ったときにはひとりで悩みを抱え込まず、まわりを頼ってほしい」とメッセージも贈った。



みんなで応援している
安謝鋳物商事が25万円

安謝鋳物商事（仲宗根重人社長）は25万円を寄付した。3月6日、同社で行われた贈呈式で仲宗根社長と照屋光晴主任（同左）は「継続支援する事が大事だと思っている。みんなで応援しているのだから、しっかり明るく頑張ってもらいたい」とメッセージを贈った。



地域の皆様と共に支援
JAおきなわSSが四半期ごとに寄付

JAおきなわSS（久場良昭社長）は同SS各店舗に「交通遺児支援協力店」と掲示し、給油した車1台ごとに売上金の一部を交通遺児支援に充てる活動を実施している。毎年度四半期ごとに寄付を行っており、令和5年度は総額62万8933円となった。令和3年度から

読谷村の比嘉美恵子さん（写真）は3月8日、育成会事務局を訪れ8万円を寄付した。継続的に支援を行っている比嘉さんは「進級や進学を迎える子どもたちには4月からの新年度も新たな気持ちで頑張ってもらいたい」とメッセージを贈った。



始まった支援はこれまでに167万5313円の寄付が寄せられている。

社会貢献として継続寄付
宮昌工業が20万円

宮昌工業（宮城哲人社長）は3月12日、20万円を寄付した。毎年、自治体や福祉団体へ利益の一部を寄付しており、次世代を担う子どもたちの大きな支えとなっている。

極真会館県支部が選手権大会開催
チャリティー寄付で5万円

極真会館沖縄県支部（七戸康博支部長）は3月17日、豊見城市の沖縄空手会館で「第31回極真沖縄空手道選手権大会」を開催し、その開会式でチャリティー寄付金として5万円を贈った。



自動車販売協会が20万円
自動車に携わる責任がある

県自動車販売協会（立津和弘理事長）は3月7日、自動車のナンバープレート発行業務や重量税などの収

益の一部20万円を寄付した。育成会事務局を訪れた立津理事長は「自動車関係に携わる立場として、子どもたちの将来を支える責任がある。大変な環境でも頑張ってもらいたい」と寄付金を託した。

運送業に携わるものとして
小緑運輸が10万円寄付

小緑運輸（新垣正仙社長）は10万円を寄付した。3月22日、育成会事務局を訪れた幸地秀之取締役営業部長（写真左）、大城直哉運輸部部长（同中央）、金城弘記執行役員（同右）は「日頃から安心・安全をモットーに乗務員教育を徹底している。運送業に携わるものとしてこれからも事故防止と子どもたちの支援に

役立ちたい」と話した。



県四医療団体が72万円余
子どもたちの学業を支えたい

県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会の医療四団体は3月25日、沖縄テレビを訪れ728,782円を寄付した。寄付金は医療機関設置のボックス募金や会員から寄せられたもの。代表して目録を手渡した県医師会の宮里達也副会長（写真中央）は「突然のことで交通遺児となった子どもたちの学業を支えるため有効に使ってほしい」と話した。

い」と話した。



酒造組合が20万円
子どもたちへ教育支援金

県酒造組合（佐久本学会

長）は3月25日、学習支援および教育支援金として20万円の継続寄付が贈られた。

交通遺児のうまれない社会のために
沖縄テレビが15万円

沖縄テレビ（船越龍二社長）は3月25日、同社が取り組む飲酒運転根絶キャンペーンの収益から15万円を寄付した。沖縄テレビで行われた贈呈式で我那覇健常務取締役（写真右）は「交通遺児の生まれない社会のために、これ

からも飲酒運転根絶の呼びかけを継続していく」と話した。



チャリティー賛同者からの寄付
県ピリヤード協会が20万円

県ピリヤード協会（富里正史会長）は、那覇市のスポーツカフェバー「ネオバータ」で、3月17日に開いた第24回チャリティーピリヤード大会の参加者から寄せられた20万円を寄付した。3月26日、育成会事務局を訪れた富里会長は「123人の参加者が趣旨に賛同し、大会を盛り上げてくれた。ピリヤードを通して支援できることが嬉しい」と寄付金を託した。



元気でもらうために
パイオニアが100万円

遊技機器の企画製造、販売を行うパイオニア（片田富穂社長、大阪府）は100万円を寄付した。5月17日、沖縄テレビを訪れた安村健栄会長（写真中央）と坂田初則沖縄営業所長（同左）は「子どもたちに元気でもらうために、今後も支援を継続していきたい」と寄付金を託した。



琉球ゴールデンキングス公式観戦券
琉球ダイハツ販売が50枚寄贈

琉球ゴールデンキングスのトップオフィシャルパートナーである琉球ダイハツ販売（加藤憲志社長）は

り、琉球ゴールデンキングスのホーム観戦チケット50席が贈られた。3月26日、浦添市城間の同社本店で行われた贈呈式で加藤社長は「子どもたちの将来が輝くためのきっかけになれば嬉しい」と話した。



ボックスデビュー

海邦病院

海邦病院（宜野湾市・富名腰徹理事長）は4月10日、交通遺児育成会の募金ボックスを設置しました。すでに受付窓口



寄付協力者ご芳名

令和6（2024）年2月1日～令和6（2024）年5月31日

団体寄附

Table with 2 columns: Date and Donor Name/Amount. Includes entries for February and March.

個人寄附

Table with 2 columns: Date and Donor Name/Amount. Includes entries for February, March, and April.

ボックス募金

Table with 2 columns: Date and Donor Name/Amount. Includes entries for February.

Table with 2 columns: Date and Donor Name/Amount. Includes entries for March, April, and May.

学校寄附

Table with 2 columns: Date and Donor Name/Amount. Includes entry for February.

賛助員寄附

Table with 2 columns: Date and Donor Name/Amount. Includes entry for February.

受贈品寄付

Table with 2 columns: Date and Donor Name/Amount. Includes entry for February.

※敬称略

★寄附金・賛助会費等の振込口座(随時受付中)★

☆振込み方法：右記金融機関窓口指定振込用紙使用

～募金箱管理者様へ～

募金箱の設置管理、お振込み手続き等、日々のご理解とご協力に感謝いたします。



Table with 3 columns: 金融機関名, 支店名, 口座番号. Lists bank names and account numbers.

※その他の振込先は当会 HP をご覧ください

口座名義人：公益財団法人 沖縄県交通遺児育成会